

平成23年度第3回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成23年6月13日（月）14時30分～16時17分

場 所：熊本県立大学大会議室

出 席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
事務局長	益田 和弘
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	有菌 幸司
総合管理学部長	三浦 章
地域連携センター長	篠原 亮太
学術情報リサーチセンター長	津曲 隆
アドミニストレーション研究科長	黄 在南
熊本県公立高等学校長会会長	森塚 利徳
前熊本近代文学館館長	河原畑 廣
昭和女子大学教授	渡辺 満利子

事務局：渡辺事務局次長、林田教務入試課長、高橋学生支援課長、馬場総務課長、阪本企画調整室長、田中学術情報リサーチセンター事務長、枝國地域連携センター事務長、教務入試課元島班長、同課西本主幹、企画調整室安達主幹、同室林主幹

- 1 開会（進行：渡辺次長）
- 2 学長挨拶
- 3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 熊本県公立大学法人評価委員会へ提出する平成22年度業務実績報告書について

事務局企画調整室から、熊本県公立大学法人評価委員会へ提出する平成22年度業務実績報告書について、資料1-1に基づき、公立大学法人熊本県立大学の評価実施要領に定められている評価にあたっての基本的な考え方、評価の方法、評価の進め方について、資料1-2に基づき、評価のスケジュールとして5月の法人内での自己点検・評価、6月の運営調整会議、教育研究会議、経営会議、理事会での審議を経て、6月末日までに熊本県公立大学法人評価委員会へ提出、その後同委員会で審議、知事による議会報告になること、資料1-3に基づき、自己評価の概要は、120の取組項目のうち、教育研究に関する項目は89あり、内訳はA（年度計画を十分に実施）が78、B（年度計画を概ね実施）が10、C（年度計画を下回っている）が1、D（年度計画を大幅に下回っている、又は実施していない）が0であったとの説明があった後、資料1-4に基づき、平成22年度の年度計画のうち、「全体的な状況」と教育研究の質の向上に係る項目のうち重点的に取り組むこととされていた項目を中心に説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成 24 年度編入学等試験の実施方針について

事務局教務入試課から、平成 24 年度編入学等試験の実施方針について、資料 2 に基づき、「編入学等試験は、基本的に入学予定となる学年の在学生数が入学定員の 110% を超えないことを前提とする。入学年次は原則として、大学卒業者、出身学科が同一系統の場合は 3 年次、出身学科が異なる系統の場合は 2 年次となる。今回は、環境共生学部環境資源学科から編入学等試験の希望があり提案するもの。募集人員は若干名で試験の実施予定日は 10 月 8 日。10 月 17 日に合格者を決定する予定。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 教員採用に係る枠取りについて

・ 憲法学

事務局総務課から、資料 3 に基づき、「総合管理学部における憲法学を専門分野とする准教授又は講師の枠取り。平成 24 年 4 月 1 日の採用を予定している。」との説明があり、続いて総合管理学部長から、「平成 21 年度から憲法の専任教員が不在となっており補充する必要がある。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

・ 行政学

事務局総務課から、資料 3 に基づき、「総合管理学部における行政学を専門分野とする准教授又は講師の枠取り。平成 24 年 4 月 1 日の採用を予定している。」との説明があり、続いて総合管理学部長から、「公務員志望者等行政系の科目の学習希望者が多く、また、アドミニストレーションの教育研究に不可欠な科目である。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

・ 社会統計学

事務局総務課から、資料 3 に基づき、「総合管理学部における社会統計学を専門分野とする准教授又は講師の枠取り。平成 24 年 4 月 1 日の採用を予定している。」との説明があり、続いて総合管理学部長から、「ビジネス・アドミニストレーションの支柱をなす分野。平成 23 年 3 月末転出者の補充のための枠取りであり、在学生のニーズが高い社会調査士の資格認定を支援するためにも必要な科目である。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

・ 経営戦略論

事務局総務課から、資料 3 に基づき、「総合管理学部における経営戦略論を専門分野とする准教授又は講師の枠取り。平成 24 年 4 月 1 日の採用を予定している。」との説明があり、続いて総合管理学部長から、「平成 24 年 3 月末転出予定者の補充のための枠取りである。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

・ 看護学

事務局総務課から、資料 3 に基づき、「総合管理学部における看護学を専門分野とする教授又は准教授の枠取り。平成 24 年 4 月 1 日の採用を予定している。」との説

明があり、続いて総合管理学部長から、「平成24年3月末の定年退職予定者の補充のための枠取りであり、高度な看護管理能力を欲する学生のニーズに応えるために必要な科目である。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 平成23年度新入生アンケート調査結果について

事務局教務入試課から、資料4に基づき、「平成23年4月に実施し、回収率は各学部とも90%を越え全体では98%。概要としては、「本学を調べる際に活用したもの」は「大学案内」が52%、「ホームページ」が30%。「本学について最も知りたかったこと」及び「本学を受験した動機」は前年度と同様に「勉強内容」が1位。「学科名を見たときの印象」は、環境共生学部は76%がイメージできると回答しているが、総合管理学部は28%となっている。」との報告があった。

② 平成23年度新2年生アンケート調査結果について

事務局教務入試課から、資料5に基づき、「平成23年4月に実施し、アンケートの回収率は、各学部とも80%を越え全体では85%。概要としては、「入学前に想像していた学習内容と実際との違い」については、「概ね想像どおり」、「半分ぐらい合っていた」を合計すると84%。「1年間の大学生活に満足しているか」は、「満足」と「やや満足」を合計すると86%。「親戚や後輩等に本学への進学を勧めるか」については、「勧めたい」、「動機が合えば勧めたい」を合計すると89%となっている。」との報告があった。

③ 科学研究費補助金の採択状況等について

事務局総務課から、資料6に基づき、「平成23年度の科学研究費補助金は60件の新規応募で、応募率は前年度と同様の80%であった。採択件数は9件で、前年度から1件増加しているが、申請額が少額となる基盤Cでの応募が多かったため、約2,500万円の減額となっている。採択率は15%であった。先ほどから指摘いただいているように、今後は、応募率から採択率の向上に向けて検討していく必要がある。」との報告があった。

④ 第2期中期計画について

事務局企画調整室から、資料7に基づき、「平成23年度は第1期中期計画の最終年度であり、第2期中期計画を策定し設立団体の認可を受けなければならない。本来、設立団体の長が示す中期目標を達成するための手段として中期計画を策定するものであるが、設立団体における中期目標の進行状況を踏まえ、これに先立ち、第1期中期計画をベースに『スリム化と明確化』を基本方針として、検討を進めている。今後、設立団体の中期目標案を反映させ、中期計画案、平成24年度計画を法人内で検討し、教育研究会議、経営会議及び理事会の審議を経て平成24年2月に中期計画策定及び認可申請、3月に平成24年度計画届出の予定である。」との報告があった。

4 その他

古賀学長から、「本学が内閣府の食育推進ボランティアの表彰を受け、来る6月18日に表彰式がある。6月8日及び9日に開催された九州学生ゴルフ選手権で環境共生学部の女子学生が優勝、また、6月11日に開催された熊本県学生剣道選手権大会女子個人戦で総合管理学部の学生が優勝した。」との報告があった。

渡辺委員から、「去る6月4日に昭和女子大学日本語日本文学科特別公開授業において、半藤副学長が「徳富蘆花とトルストイ」について講演され、都内在住の本学卒業生も参加した。是非本学においても実施していただきたい。」との発言があった。

次回日程 平成23年7月25日（月）午後2時30分～ 本部棟2階大会議室

5 閉会